

将棋でつながる 熱い絆 ねんりんピックはばだけ鳥取 2024

八頭町 将棋 交流大会 開催

ねんりんピックはばだけ鳥取 2024 八頭町 将棋交流大会が10月19日から21日までの3日間、八東体育文化センターで盛大に開催されました。全国各地から集まった179人の参加者が熱戦を繰り広げ、八頭町に将棋の熱気が広がりました。



緊迫の対局と熱い絆！
一手一手に込めた想い

将棋交流大会では、1チーム3名で戦う団体戦と、9グループに分けてトーナメント形式で戦う個人戦が行われました。持ち時間40分の中で次の一手を慎重に繰り出す選手たちの集中力は見事でした。試合後は、互いの健闘を称え合い、笑顔で対局を振り返る姿が印象的でした。団体戦では茨城県代表チームが優勝し、各トーナメントの優勝者にも賞状とメダル、副賞が贈られました。



一手に集中する選手



個人戦で優勝した選手たち



団体戦で優勝した茨城県代表チーム



八頭町代表チーム
チームやずぴょんも大健闘

プロ棋士の技「プロ棋士との指導対局コーナー」では、子どもたちをはじめ、将棋愛好家らが次々と戦いを挑み、対局後は感想戦を展開しながら対局へのアドバイスをもらっていました。



プロ棋士との指導対局コーナーでは、子どもたちをはじめ、将棋愛好家らが次々と戦いを挑み、対局後は感想戦を展開しながら対局へのアドバイスをもらっていました。2日目に行われた「次の一手」では、出口若武六段によりお題が出題され、見事解答した参加者の中から、抽選で10名に町特産品神米が贈られました。

将棋の極意はね... 「決断」だよ!



プロ棋士と対決する参加者



「次の一手」の解説をする出口六段



ご参加いただいたプロ棋士4名
左から 北村女流二段、出口六段、畠山八段、長谷川女流二段



おもてなしをするスタッフ



埼玉からやってきました!
鳥取はいいとこだね〜



健康教室に参加する選手たち



大江ノ郷自然牧場を見学する参加者



ミニSLに試乗し笑顔を見せる参加者



にぎわう特産品販売コーナー

八頭の味のおもひなごころ 心も身体もほっこり

大会開催中、日本赤十字奉仕団八頭町支部による梨や柿、あたたかい味噌汁のふるまいが行われ、集中力を要する対局で疲れた選手たちを癒やしました。また、町特産品販売コーナーでは、梨や柿、エリンギなどに加え、大江ノ郷自然牧場のお菓子などを買い求める参加者が賑わいました。

町内ミニ観光バスツアーで 八頭の魅力を満喫

最終日には八頭町を楽しむミニ観光バスツアーが実施され、26名が参加しました。船岡竹林公園のミニSL博物館や大江ノ郷自然牧場を訪れた参加者からは、「自然豊かで心地よい時間を過ごせた。大江ノ郷のソフトクリームが濃厚で美味しかった」という声がありました。

